

### キク科 アレチノギク 類似種 図入り検索表

#### 《外見からの判断》

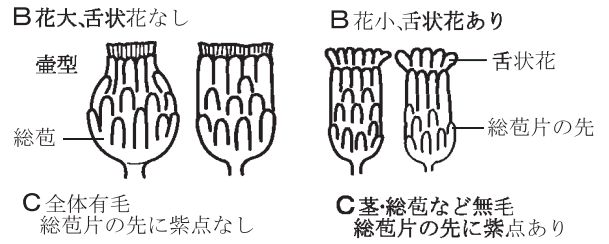
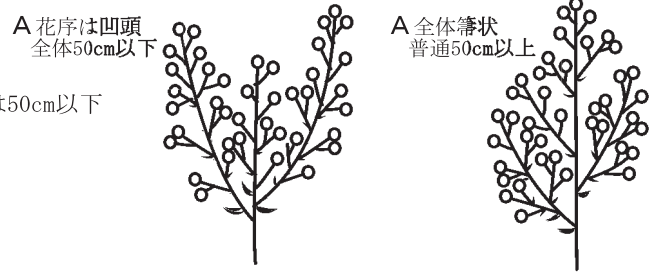
◆A正常植物は側花序が高く、中央の花序は低く、凹頭となる◇植物体は50cm以下  
◇花は大きく、舌状花はみえない【アレチノギク】

◆A正常植物は中央の花序が高く、側花序は順に低く、全体箒状になる  
◇植物体は50cm以上のものもみられる

◆B花は大きく、舌状花はみえない；壺型の花がある；花序の側枝は太い  
【オオアレチノギク】

◆B花は小さく、小さな白い舌状花がある；花序の側枝は細い  
◆C花序の枝は下の方から花がつく；茎や総苞は有毛【ヒメムカシヨモギ】

◆C花序の枝は先にだけ花がつく；茎や葉は基部を除いて無毛  
；総苞片の先近くに紫点がある【ケナシヒメムカシヨモギ】(稀)



#### 《花での検索》

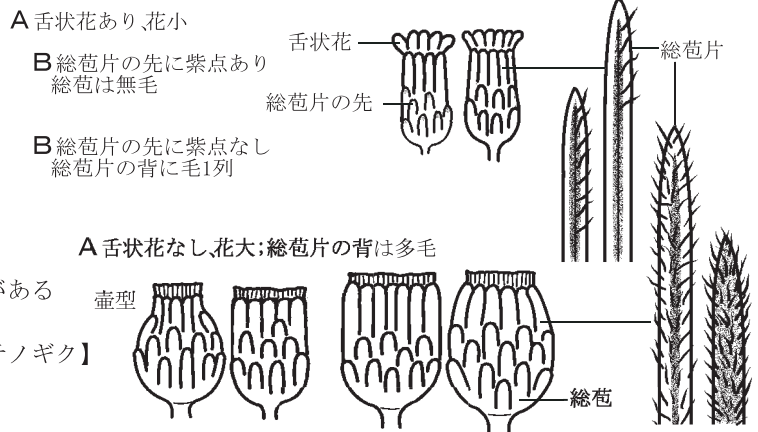
◆A白い舌状花がある；花は小さい  
(総苞はおおよそ、高さ3.5mm、巾2.5mm)  
◆B総苞片の先近くに紫点がある；花序の枝には先だけ花がつく  
◇総苞片は無毛【ケナシヒメムカシヨモギ】(稀)

◆B総苞片に紫点はない；花序枝には下の方から花がつく  
◇総苞片の背には毛が1列に並ぶ【ヒメムカシヨモギ】

◆A舌状花は目立たない；花は大きい◇総苞片の背には多数の毛がある

◆B総苞はおおよそ、高さ4mm、巾3.5mm；壺型の花がある【オオアレチノギク】

◆B総苞はおおよそ、高さ5mm、巾4mm【アレチノギク】



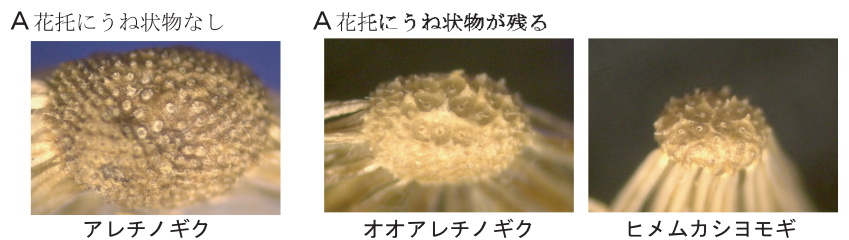
#### 《枯花での検索》

◆A枯れた花托にうね状物がなく、瘦果痕は多数ある  
◇総苞片の背には多数の毛がある  
(仮称)うね状物  
【アレチノギク】

◆A枯れた花托にうね状物が残る  
(ケナシヒメムカシヨモギは未調査)

◆B総苞片の背には多数の毛がある  
；総苞は長さ4mm【オオアレチノギク】

◆B総苞片の背には毛が1列に並ぶ  
；総苞は長さ3.5mm【ヒメムカシヨモギ】



#### 《葉での検索》

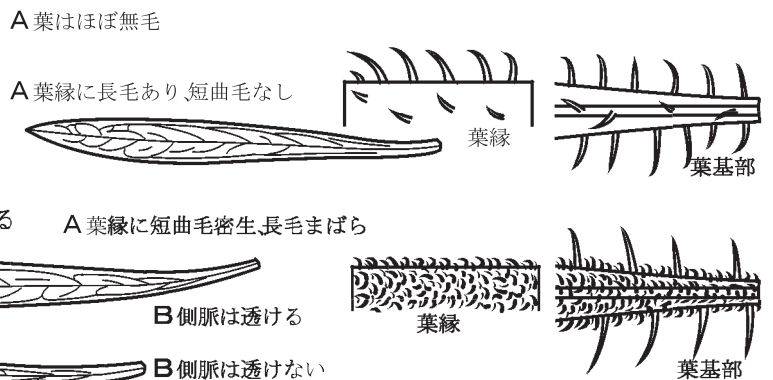
◆A葉は基部を除きほぼ無毛【ケナシヒメムカシヨモギ】(稀)  
(透脈は未調査)

◆A葉は縁に白長毛がまばらに並び短曲毛はない  
；両面やや少毛があり、裏脈は突出する  
◇葉は明るい緑色で、側脈はやや透ける【ヒメムカシヨモギ】

◆A葉は両面や縁に短曲毛が密生し、縁には長毛がまばらに混じる  
◇葉は灰緑色

◆B側脈が透ける【オオアレチノギク】

◆B側脈は透けない【アレチノギク】



#### 『イズハハコ属 Conyza』

◇アレチノギク *Conyza bonariensis* (L.) Cronquist

◇オオアレチノギク *Conyza sumatrensis* (Retz.) E.Walker

#### 『アズマギク属 Erigeron』

◇ヒメムカシヨモギ *Erigeron canadensis* L.